



西東京市の 在宅医療の現在

西東京市では、患者さんがご自宅で円滑に療養（＝ご家族が介護）できるように、いろいろな工夫がされています。ご自宅での療養で問題になるのは、ご家族の介護疲れで



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症サポート医

す。私が関わっている患者さんは、ご自宅で酸素を吸っていたり、重篤ながんの患者さんであったりと、介護施設での一時なお預かりが困難な方々が主です。

このような医療的関わりが多い患者さんに対して西東京市では、医師会が主体になって、患者さんを入院してお預かりする「後方支援事業」の制度を設けています。

具体的には、①介護者（仮称）在宅療養支援であるご家族が急に入院窓口に市に設ける取組も始まっています。②痰の吸引など医療的な療養を持ち込むことにより、介護が頻回で、ご家族中心の在宅介護が困難な院の診察が受けられない方々や、退院後の自宅での生活が心配な入院患者さんが、もっと気軽に「訪問診療」を利用できるようになればよいと思います。

前に、西東京市の職員の方々は、「とにかく、みんなに温かいまちをつくりたい」という気持ちで、市民と在宅医療の架け橋になるように頑張っています。例えば、在宅医療を円滑に利用できるようにす

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応 : 午前 9:00 ~ 午後 6:00
■定休日 : 土日 (祝日は診療)
■訪問地域 : 西東京市全域、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック